

令和5年第6回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和5年10月31日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和5年10月31日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（13名）

|          |           |
|----------|-----------|
| 1番 藤本健太  | 2番 世良将生   |
| 3番 水原耕一  | 4番 福垣内邦治  |
| 5番 光本一也  | 6番 中島数宜   |
| 7番 尺田耕平  | 8番 竹爪憲吾   |
| 9番 沖田ゆかり | 10番 片川学   |
| 12番 荒瀧穂積 | 13番 大瀬戸宏樹 |
| 14番 時光良造 |           |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（1名）

11番 民法正則

~~~~~○~~~~~

6. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 榎並正和

~~~~~○~~~~~

7. 案件

【議会】

- (1) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (2) 議会運営委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会広報特別委員会の活動状況について（報告）
- (4) その他

~~~~~○~~~~~

8. 議事の内容

(開会 9 時 3 0 分)

○議長 (時光) おはようございます。

議員の皆様におかれましては、お忙しい中を全員協議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。皆様から様々な御意見を頂き、本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、今から全員協議会を開会いたします。本日は、議会からの報告案件 3 件について御協議いただくこととしております。

それでは、早速協議に移ります。報告案件、各常任委員会の活動状況について、各常任委員長から説明を受けたいと思っております。

それではまず、光本総務建設委員長、お願いします。座ってですよ。

~~~~~○~~~~~

○総務建設委員長 (光本) じゃあ、総務建設委員会のほうから御報告申し上げます。

去る 10 月 25 日に、第 2 回委員会を開催をいたしました。

内容なんですけど、今年度の 2 つの重点調査項目であります筆の里工房周辺整備事業、そして熊野町の移住定住対策について、この重点項目 2 項目について、執行部のほうから担当部局の職員の説明を受けました。総務部、建設農林部の職員から説明を受け、質疑を行いました。

また、来月には調査の一環として、11 月 7 日と 8 日、熊本県人吉市のクラフトパーク、そして大分県豊後高田市の移住定住対策の取組について視察調査を行う予定でございます。

以上、総務建設委員会の報告でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長 (時光) 次に、中島文教福祉委員長、お願いします。

○文教福祉委員長 (中島) 皆さん、おはようございます。

文教福祉委員会から、先月の 9 月の 27 日、今年度の第 2 回目の委員会を開催をいたしました。

主な議題としましては、県外研修の日程、あるいは訪問先、その辺のところを最初にお話ししました。引き続き、文教のほうから、不登校の問題に関するもの、それから健康福祉部のほうから認知症に関わる案件、この 2 点について質疑を、説明を受けまして、質疑をいたしました。

特に不登校に関しては、27日午前中になりますけど、熊野中学校のほうに行って不登校の現状の説明を受けるとともに、れんげルームというのがありますが、そちらのほうの視察をさせていただきました。

認知症の関係におきましては、午後から東防災センターにおいて、認知症サポーター資格を取得するための講習、これを委員で受けまして、取得をしたところであります。

その後、3時頃から、れんげルーム、すみません、オレンジルームでした。オレンジルームというかオレンジカフェですね、そちらのほうに参画して、そちらのほうの皆さんと意見を交換したというふうになります。

不登校とか、認知症、入り口だけをまだ検討しただけなので、今後引き続き活動していきたいというふうに思っておりますので、また各委員の皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。

簡単ですが、私のほうからの報告に終わります。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 各常任委員長からの報告は終わりました。

この報告について質疑があればお願いします。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 不登校ですね、全国的に話題が少しずつ出ておるようでございますが、熊野町の現状はどんな様子でございますか。示してください。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 中島議員。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） ごめんなさい、よろしいですか。

町内各校ありますけれど、全体の把握は、いろいろ問いかけに対してちょっと問題もあるというふうに私は思っていて、人数までは確認をまだしておりませんが、れんげルーム、熊中でやっている特殊学級というんでしょうかね、どういうんでしょうか。そこへの今の出席されてる方は8名だったかな、と聞いております。3年生と2年生、3年生が5名だったですかね、いうところの現状は把握してはありますが、じゃあ全体がどうかというのはちょっとまだ把握はしておりません。しようと思えばできるんですけど、ウイの原因が・・・のところもあるので、そこはちょっとまだしておりません。

〇議長（時光） 荒瀧議員。

〇12番（荒瀧）

今、たしか何か8050問題だったっけ、もう高齢者を高齢者の人が介護するというかね、閉じ籠もりなんです。これもすごい労働者の不足も加味するわけですけど、人手不足やという。家に籠もつてるわけですね。だから、ここらの多分延長戦がずっと引き続いてくるんじゃないかなと。だからそこをどういうふうに、一旦ステップできる土壌を作るかというのは、国も随分悩んでらっしゃると思うんです。だからそこらもいうことと、そしてもう一つはシッパシヨウの学校の中の組織です。曾余田先生というのを今、評価委員に入っていておられますね、広大の教授ですね。学校の組織もやっぱり非常に整えていく時期に入っておると思いますので、そこら踏まえて、それぞれ責任者は校長になろうかと思うんですが、ぐっと中身に入っていていただきながら、一人一人救う方法を模索する。人が足らにゃあ人を増やしていかなきゃ、その支援員として。そういう人もおられるとは思いますが、そういうこともぜひまた、みんなが共有する必要があるのかなと。あちらも子育てが終わりましたので、関心度は減っておりますけども、孫の方もおられるかもわかりませんし、そういう世代はずっとつながっていくもんですから、私らの時代に比べては、比べれば不登校が増えただろうと思います。それは何なのかと。多分、大人社会の問題があるんだなと私は思いますけども、ぜひプロの先生と、の意見も、こちらのほうへ報告いただければありがたいなと思います。

〇議長（時光） 中島議員。

〇文教福祉委員長（中島）

私なりにね、私のできる、あるいはことだけを調べてみようとか、そういうなことは日々やっておるつもりなんですけれど、やっぱり不登校、例えば100人おられたら100人の理由があって、それがばらばらの理由になるんだろうと思うんです。そういったところをどうまとめてどう改善していくかというのが、我々の中で果たしてできるものかどうかというのはあるんですけど、それは課題を、何ていうか、提供するというか、そういうことは可能だろうと思います。そういった意味でちょっと調べていきたいとは思っています。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） 荒瀧議員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○12番（荒瀧） ちょうど東京のあつこの、何ですかね、モノレールのところ、一緒にタクシーに乗りまして、その話題をしたのを覚えてらっしゃると思うんですけど、リースクールは、インドのリースクールのほうへお孫さんが行ってらっしゃると。いろんなお話聞きながら、そういう事態はなかなか耳に入っていらっしゃらんようでございますが、たまたま私の娘も、YMCAのリースクールを少し見たりしておりますけれども、やっぱりそういう傾向はない、やっぱりすごく、どういうんですかね、みんなが助け合い、支援しながら伸ばすと。いずれはこれも私学の進学校へ入れるような人も多いですね、金持ちの人も多いですから。そういう意味での何か温度差を感じます。公教育と、私学のほうが随分今頑張ってるような匂いをしますね。その辺り、何が足りないのかどうかというの踏まえながら、ぜひ熊野の公教育がよくなるように、みんなで力を出していかなきゃと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議長（時光） では、よろしくお願いします。

ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（時光） ないようですので、それでは各常任委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

続いて、議会運営委員会の活動状況について、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。

それでは片川委員長、お願いします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○議会運営委員長（片川） 前回の全員協議会で意見が上がってきたことに基づいて、定例会の日程について先ほど来協議させていただきました。

それで、日程を、申合せの第2火曜日、定例会だったところを、第1火曜、第1火曜日に定例会を開催するということを決定いたしました。それに基づいて、一般質問、これの配布、通告書の配布が前々月の末日配布されます。前月の、定例会の前月の20日通告締切り、20日5時ですね、20日午後5時締切りということで決定いたしました。

以上、報告申し上げます。

ほかについては、また事務局のほうから資料が回ると思いますので、それはまた参照ください。今ははっきり言えることは、第1火曜に変更、開催日を変更。それで、一般質問の通告配布が前々月の末日、通告の締切りが前月の20日5時ということでございます。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） この報告について、質疑があればお願いします。

水原議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（水原） これは、この12月の定例会から一応やられるということですかね。

~~~~~○~~~~~

○議会運営委員長（片川） はい、そうです。

~~~~~○~~~~~

○3番（水原） 分かりました。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（時光） それでは、議会運営委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

続いて、議会広報特別委員会の活動状況について、議会広報特別委員長から説明を受けたいと思います。

竹爪委員長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○議会広報特別委員長（竹爪） それでは、議会広報特別委員会でございますが、9月の26火曜、27で東京のほうへ5年度の町村議会広報研修会に出席させていただきました。1泊2日でございますので、そのテーマに乗って、また今回皆さんに見ていただきたいのは、今回出た128号でございますが、また目を通していただきたいと思っております。

そして、この議会広報委員会が128号につきましては9月の19日、10月の4日、

11日、18日と4回ほど携わってまいりまして、今回発行することになっておりまして、皆様方にまた目を通していただきたいと思います。

また、皆様方、今回新しい企画もいろいろ変えておりますので、何とぞ、また皆様の評価も頂きたいと思っておりますので、いろいろとよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ただいまの報告について、何か質疑があればお願いします。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） せんだっての国会陳情に関する記事はあるんですかね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○議会広報特別委員長（竹爪） 載っておりません。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） もう載せないんですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○議会広報特別委員長（竹爪） 次回載せたいと思っております。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） それについての記事内容なんですが、国会において写真を撮られたのは、新谷議員のところだけですよね。陳情書、要望書の。写真いうものは載せてないんですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪議員。





○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 写真の話が出ましたので、要望書の内容でございますね。これもきち  
っと書いていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○議会広報特別委員長（竹爪） 分かりました。ありがとうございます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ほかにありませんか。

片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 今の要望書に関しても、議運が機能してないということで、議運の責任  
でございますので、次回よりちゃんと協議した上で陳情を行いたいと思います。

また、視察に関してもそういう検討していきたいと思っておりますので、大変申し訳ござい  
ませんでした。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 議長の責任もありますので、申し訳ございませんでした。

それでは、議会広報委員会の活動状況についてはこの程度として、次の協議に入ります。  
す。

続いて。中島議員。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島） 訂正をさせていただきます。先ほど報告の中で、不登校の人数が  
という問合せがありましたけど、熊中には8名だと思いますけど、実は11名でした。  
3年生が8名で、2年生が3名というふうに聞いております。ちょっと訂正をさせてい  
ただきます。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 人数に関しては、問えばすぐ答えてくださいます。委員長の考え方で今回聞いとられんいうだけのことであって、委員長には委員長の考えがあつてでしょうから、それを共有すべきいうのであれば、委員会のほうでまた協議されてたと思うんでね。意見として上げられないんですが、委員長には委員長の考え方があつてでしょうから、そのぐらいでちょっとまた協議される思いますんで、加味ください。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 人数というより、私は増えよるんじゃろうというのが知りたいわけよ。特定の人じゃなくてね。だからそれはなぜなのかというのが、わしらが解決できる努力しろがあるならしなくちゃいけない役目ですから。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） よろしいですね。

続いてその他ですが、私のほうから何点か皆さんに協議したいと思います。

まず、お手元にお配りしております熊野町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてというのを、タブレットにも入っています。今。

皆さん、タブレットを見ていただければ、押ししてもらえば。ペーパーもありますんで、出ましたかね。これを御覧ください。

他の市町議会の事務局の条例の制定状況や減額割合等を調査して、資料を作成しました。当議会も近隣の市町、特に海田、坂町と同様に、した形で減額割合を決め、条例を制定してはどうかというふうに考えております。他の市町がここの一、二年の間にこういう条例を制定されまして、一部の議員さんともいろいろ協議してきましたんですが、ここでそろそろうちのまちでもいいんじゃないかということで、この条例を次の定例会、議員発議ということで提出するというにしたらどうかと思っております。

来月の全協で条例案を事務局に用意させると思いますが、その後、議運のほうにかけてやらせてもらおう思うんですが、御意見はありませんか。内容をしっかり見てください。市町によって若干違いはありますが、右側の表を見てもらえば分かるように、坂、海田、神石高原町、広島市とかちょっと別ですけど、その辺に合わせてやればいいんじゃないかと思えます。

福垣内議員。

〇4番（福垣内） 減額割合なんですが、これの欠席期間の数え方というのは、どのよう  
に。

〇議長（時光） 日にちのことですか。

〇4番（福垣内） 例えば90日を超えとありますけれども、ではそれは例えばですけど  
議会の定例会を連続して90日なのか、それとも議会は初日から会期末までをきちっと  
数えるのか、委員会においては、その委員会当日の欠席は1日なのか、その月の会議が  
2回あれば、2回欠席したらもうそれは30日の欠席とみなすのか。

〇議長（時光） 暫時休憩します。

（休憩 9時55分）

（再開 10時08分）

〇議長（時光） 休憩前に引き続き、全員協議会を再開いたします。

先ほどお話しした、この熊野町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について  
ということで、こういう形で他の市町が出てます。我がまちのほうでも議員発議という  
ことで提出しよう、したらどうかということでございます。最終的には、これは議運に  
かけてまた決めさせていただきますけど、一応この今の案について御意見があればとい  
うことで、福垣内議員のほうから先ほど質問がありましたんで、ちょっとその件につい  
て、日にちについて、事務局、先ほどの続きを。

〇議会事務局長（榎並） 日数の計算の仕方なんですけども、まずこの欠席に対する議会  
というのが、第2のところを書いてあります定例会、臨時会、それから議運、それから  
全協、常任委員会、特別委員会というのが対象になっております。これの最初に休まれ  
た日にちから通算して90日という形の考えでございます。

〇議長（時光） 福垣内議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○4番（福垣内） 休会中等も含むということでもいいんですかね。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議会事務局長（榎並） はい。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（時光） 福垣内議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○4番（福垣内） ですんで、委員会等がない日もその日数は進んでいくという考え方。っていうふうな。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（時光） 事務局長。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議会事務局長（榎並） 90日というのは、例えば今日全協をやりましたと。それから90日間の間にいろいろまた会議があると思うんですけども、その間欠席の場合は、それ以降については減給という考えです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（時光） 沖田議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○9番（沖田） 要するに、今日もし休んだとして、今日が最初の1日目と数えるじゃないですか。しばらくなくって、何かほかの委員会があるとか、臨時議会があるとか、そしたらその今日の日を1日休んだと数えて、何もない日は数えなくて、次の委員会でもまた休んだら2日と数えるのか、それとも今日休んだらその間が何日であろうが、その次の委員会次休んだらその全部を数えるのかということを聞きよってんでしょう。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（時光） ですから、極端な話、90日間何にも出なかったと。どこにも出なかった、出席しなかったと、この上に書いてある委員会も含めて、全てに90日間何も出席しなかったらということだと。大瀬戸議員。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○13番（大瀬戸） 町議会は、本会議とか常任委員会とか、出席という日にちは年に90日もありませんのですよ。だからこういう決め方は、町議会でなぜるのかなというの

が率直な気持ちです。だから、別の表現がないのかなと。毎日毎日出て、札をこうやってするような会議じゃないので、日にちで判断というのは非常に難しいかなという気はしてますね。何かほじゃけ、例えば本会議を2回休んだとか、本会議でも3日あるやつを1日休んだとか3日とも休んだとか、そういう、それこそ常任委員会と本会議と、出るべく、出るべき会議を何割休んだとか、別のやり方をすべきじゃないかという気がしますね。よそのまちは、これでいっとんじゃろうけれども。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 何でもかんでもね、おかしいところがあるんやね。国政でやることを全部地方自治の、ましてや町政・村政でやるべきなのかいいうところもちよっと疑問符があって、もうちよっと町議会においては、今大瀬戸議員がおっしゃったようにね、町議会に合うたような附則を持ってくるべきじゃろうと思うんですね。

それともう一つ考えにゃいけないのは、今大きな疾病を抱えとる議員がおる中で、そこをどう考えるべきなのか。議員であるんだから、疾病があっても出てこいというような形で作るべきものなのか、それを正していきや、調子の悪い者は議会出など、立候補すな、いうところまで話を詰めていくもんなのか、それは議員とは、議会とかいう課題の中でね、職責を全うできん者は出るべきでない、いうところまでの議論に持っていくのか、いうこともちよっと皆さん気持ちの中で、これは情だけであってはいけないのは実際のところでしょうけど、今実際疾病を抱えて闘っておられる議員がおられる中で、そこちよっとどう考えるかは、皆さんそれぞれ思いがあってでしょうけど、ちよっと加味して検討していただくほうがいいんじゃないかな、いうところがありますよね。病人がおるの分かっとして当てつけがましゅうやるのは、これまた民主主義の中でちよっと違うんじゃないかな、いうところも思いますんで、これはもう皆さんちよっと加味してただけんかないう思いであります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○9番（沖田） すみません。先ほど大瀬戸議員がおっしゃったように、この表を見ても

分かるように、海田町と坂町は、実際海田町の議員に聞いたんですが、やっぱり広島市をまねして作ったよということ聞いてます。ただ、大瀬戸議員おっしゃったように、やっぱり市と町では全然議会の日数も違いますので、ここ大崎上島町が細かく決めていらっしゃるんですけど、これがいいのか悪いのかっていったところはあるんですが、市と同じというのはやっぱり違うのかなという気がします。

今、片川議員さんおっしゃったように、疾病抱えた議員さんがいらっしゃる中で、やるかやらないかという部分に関しては、皆さんで協議をするべきなのかなとは思っています。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） ほかにありますか。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（荒瀧） やっぱりみんな事情があってじゃろう思うんですね。やる気がある上で出ておられて、故意に来ないのと、疾病で来られないのと、やむを得ん場合もあるだろう思うんで、これはちょっとね、ちょっと加味してください。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 一応この件に関しては、当人とは話はしてます。やるべきだという御意見を頂いた上で、そこら辺はだからもう、一時ね、悪かったときもありましたんで、その辺はもう気にされずにやってくれという意見はもらってますんで、この内容について、ですから1年間365日しかないわけですから、その日数でやる以外ないと思います。

そうした中で、大瀬戸議員言われた、じゃあ我々が実際に1年間何日役場へ来て、もしくはよそへ出てそういう議員として全体で動いてるかというふうになると、限られた日にちしかないですが、この365日をこうやって割っていったときに、じゃあその市と一緒に、広島市は極端な話です。じゃあ大崎上島町、これは細かく分けてますよね。ここまで分ける必要があるか、それかもう今の案で出させてもらっとる3つでやるか、ぐらいの話じゃないかと思うんですが。片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 町議会に即してない、適してないものを作ってもしょうがないですからね。ただ単に絵に描いた餅ですよ。もうそれやっぱり、今大瀬戸議員がおっしゃったようにね、もうちょっと練って、町議会に適したものにすべきだろうと思いますよ、

この縛りは。これ、ただやって、国がやったけやれ、それは極端に言えば議員定数にしても、報酬削減にしても国がやったけやれ。似たようなもんですよ。何の実にも即してない気がするんですね。これもうちちょっと、この辺に関してはもうちょっと練るべきじゃないですかね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（荒瀧） 今の民主主義のことも含めてね、ガーシーみたいに出んやつもおるでしょうしね。出たいんだけど出られないと、そういう場合はその意見をくみ上げる仕組みも必要なんじゃないですかね。代理人として、何議員は病気であれだけこういう意見を持ってるというのも、一つの民主的な手続ではないかと思います。これも議論いただきたいと思いますね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） それではこの案ですね、もう少し細かい案を読みますか。少し町に即したものをいうのをですね、ちょっと考えてみます。そうした中で、次の全員協議会にまず見ていただいて、最終的には。最悪、12月議会は別に言う必要もないんで、とりあえず次、もしくは次の全員協議会に諮らせてもらって、議運で最終的に決定するという形に、でよろしいですかね。片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 事務局からもいろいろな案を出してもらえばいいんですけど、各議員さんからまたね、意見を募って、こういう配り方がいいんじゃないんですかという形を募られたらどうですか。議員さんが持つとられるにはもう別ですけど。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） とりあえずこれがたたきですんで、これ以外に何か思うものがあれば皆さん、事務局のほうにお話ししていただいてもよし、次のたたきを出したときに、またそのときに御意見いただいてもよし。別に焦ったことじゃないんで、こういうものは今、やはり必要だとは私は感じてますんで、皆さんとともに協議してやっていきたいと思えますんで、そういう形でよろしいですかね。

（「はい」の声あり）

○議長（時光） それでは次に、先ほど一般、議会の日程及び一般質問の通告の期限、そ

の他議運の委員長から説明がありましたが、それでよろしいですね。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 12月は何日になりますか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 12月の第1火曜は。カレンダー見てください。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 5日です。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 5日。一般質問の提出期限は11月20日。何曜日ですかね。

~~~~~○~~~~~

○7番（尺田） 20日、11月20日は月曜日。5時。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 5時までですね。

~~~~~○~~~~~

○13番（大瀬戸） 土日になったら前の日ってこと。締切りは。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） そうですね、金曜日ですね。

続いてあと一点なんですが、タブレットの本格利用についてということで、本会議でのペーパーレス化の開始時期ですね。一応私としては、来年3月の定例会、12月はちょっとあれなんで、その次の3月の定例会、予算ですね。ここから始めようと思うんですが、皆さん。

さらに各委員会については、来年の1月から委員会においては先行して開始したらどうかと思うんですが、御意見ございますか。

水原議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（水原） これ予算書、決算書ももう紙媒体が、あれはもうなくなるということですかね。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 一応そう思ってるんですが。

~~~~~○~~~~~



○3番（水原） これに、タブレットに書き込むというのがなかなかまだ慣れてないんで、そこはどうかと。すぐ。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 一応なしという方向で思ってるんですが。

~~~~~○~~~~~

○13番（大瀬戸） やるしかないしやないん。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） もう海田町なんかすぐなしでやってるみたいなんで、何とか皆さんの御努力で、もうちょっとして私が一番努力せにゃいけんか分らんのですが。それでやらせていただければと思います。よろしいですかね。

尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（尺田） タブレットの関係なんですけど、検索する専門みたいなもんじゃないですか。こっちから向こうへ事務局とのやり取りをするのに、今のままだったら結構不便なんですよね。ExcelかWordみたいなものは、これ入れれんのかな。アプリ。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） Excel、Wordにつきましては入れることはできますが、要は費用が発生します。そのアプリを購入するための費用がそれぞれ要るので、莫大な金額になるということで、そこを来年度予算に計上して通るかどうかというところもあるんですけども、それに代替するものとして、Googleを使っただけのフリーソフトを使って、Word、Excelと似たようなものがありますので、それでやっていくという方法が一つというので、今回ちょっと1回上げさせてもらったんですけど、意味がちょっと分からなかったら申し訳なかったんですけど。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 尺田議員。

~~~~~○~~~~~

○7番（尺田） 莫大な予算って大体どれぐらい。どっからを莫大というのか、わしいまいち分らんやけど。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 今、数字的にはちょっとはっきりと調べてないから分かりませ

んけども、大体1アプリ当たり1万円は最低でもかかると思うので、それを2つ入れて14ということを計算しただけでも、最低でもその金額は、100万弱ですね。

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） 入れれるの、世話してもらわにゃあからんが、事務局へ。世話してもらって入れたものは自分が買やあいじゃん。自分が使うの。それじゃいけんの。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 事務局。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 今段階での使用基準の中には、一応皆さんの、も同じものをと  
いう形で今決めておりますので、そういうふうに入るんであれば、そういうふうを決  
めていただいてという形にはなると思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） んじゃけど、必要とする人がおられて必要とされん人がおられるんなら、必要とされる人は自分で入れたらいいんじゃないですか。無理と税金使う必要ないんじゃないですか。もしみんながどうしても入れよう言ってるなら、税金使うんもあるかもわからんけど。個人的に入れるいうことができるわけ。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） うちのほうで預らせていただいて、入れることはできる、それはできます。だからそういう購入してもらって、それを入れるということはできるんです。ただ、今この状態で自分で勝手にすることはできないように設定をされてるんで。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 片川議員。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） それは分かるんですけど、自分が責任持って自分が使うのに便利がええようにするなら、自費でいいんじゃないですか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） とりあえず、今のExcel、Wordを入れたい方。

~~~~~○~~~~~

○10番（片川） わしは入れたい。みんながそういうなっとるじゃん。もめることはいりゃあせん。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 中島議員。

~~~~~○~~~~~

○6番（中島） そんな話がずっと出とるんですけど、結局、タブレットを導入しますよ、使ってみましょうねということで、今使ってきましたけど、いよいよ3月に本格ということになると、そんなことがあったらいいね、こんなことができたらいいの、多分見えてきたんだろうと思うんです。そういった意味では、やっぱりそういった内容を皆さんで共有化をして使っていくという、いわゆる検証のパート2じゃないけど、それ一遍やっていったらどうかという気がするんですけど、どうでしょう。

要するに、個々には確かに便利がいい、これは便利で、うちは要る要らんっていうのがあるんだけど、やっぱりこれを使う共通としたら、やっぱりあったほうがいいかなと思うんで、今までやってこられたことで自分の頭の中に質問、聞いてみたい、改善してもらいたいってのがあると思うんで、それらを持ち寄って、簡単な研修でもいいんですけど、それを要望したいんですが、いかがでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○議長（時光） 今、そういうお話がありました。今Excel、Wordに関しては、ほぼ大方の方がいうことで、今後いろいろ考えていく中で、例えば福垣内議員なんかはキーボードを自分でつけておられる。Excel、Wordということになればこれも必要になってくるかも分かんないですし、そうした中で、とりあえずあれとこれを入れてくれとかではなくて、皆さんの御意見をもうちょっと集約した中で、要望を集めて、それを基に、今中島議員言われたように、使い方の研修ですか、もう一歩進んだものの、いうことをやっていけばいいかと思うんですけど、今のところ、Excel、Word、キーボードが欲しい方とかいうのはいらっしゃらんわけですか。

これはもう、議員によっては直接つけておられますけど、その要望を、事務局なり私のほうなり、ちょっと次の協議会、全協までに。

いや、それ可能かどうかは別ですよ。予算の要ることですから、補正にしる来年度予算にしる。それは議員がね、キーボードは全員自分で出して買えばええいう、それでえ

えですし、実際福垣内議員は買うておられるわけですから。甘える、甘えてもいいですが、結果が出るかどうかは別ですが。そういうことで皆さん、また次の全員協議会までに御意見を出してください。

ということで、この件についてはよろしいですね。

(「はい」の声あり)

○議長(時光) 荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番(荒瀧) 前回でしたかね、御提案あって、時光さん、議長から、出張報告。あれはどういうふうな扱いになっておりますか。

~~~~~○~~~~~

○議長(時光) まだ、ほぼ出てません。出てないです。ですから言うときんといかんかったですね、早急に皆さん、ここにタブレット入ってますよね、たたきは。

~~~~~○~~~~~

○12番(荒瀧) 私はファクスで送ったんだけど。

~~~~~○~~~~~

○議長(時光) たたきはありますんで、そういう様式で報告のほう、早急に事務局のほうへ出してください。

すみません、今日言おう思って忘れてました。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番(荒瀧) 14人、13人で行きましたけど、それぞれのね、見方が大事なんです。私はそれが見たいです。それぞれの人のどういうふうな見方をしたかというのが、ぜひ。期限を今度は決めましょうよ。忘れますから。

2点目です。せんだって、総務建設系で工房の周辺整備の説明を受けました。今回、視察にも11月行くんですが、参考になるものはハングリーに持って帰らにゃいけないんですけども、大きな点で言えば、ソフトがまだできてない中で、講師を呼ぶと年間5,000万ぐらいの維持管理費が要るんじゃないかという意見が出ております。人を呼ぼうと思えば講師のええ人を呼ばないけん、これが相当負担、返済も出ますからね。またこの金額も出ませんでしたし。

この点と、もう一つは工事の順番が、私の頭の中では調整池が先だという認識です。

というのは、工事中っていうのは一番災害が起こりやすい状態にある、今。これで、建物をどうも優先して作られる向きがございます。非常に心配しております。建物を作った後、また駐車場を整備してエレベーター作ると。この辺りは、四、五年間ごちゃごちゃごちゃごちゃした状態になると思います。ぜひ、全員の中に説明を頂くチャンスを作っていたきたいんですが、いかがでしょう。

~~~~~〇~~~~~

○議長（時光） ちょっと私も欠席はしとったんですが、当日。資料だけ頂いて、今、荒瀬議員のおっしゃることはよく理解しております。今、お話のありましたもの、今、工房周辺の整備事業について、令和10年が全て完成する予定ですけど、一度総務の、建設のほうと総務のほうから説明会をして、全員にしていいただければと。

委員会の方はダブる部分もありますし、そういう御意見ですけど、皆さんいかがでしょう。

竹爪議員。

~~~~~〇~~~~~

○8番（竹爪） よろしいと思います。

~~~~~〇~~~~~

○議長（時光） では一度そういう機会、執行部のほうとも調整して、一応時期的にはちよっとはっきり分からないですが、早急にお願いといいますか、お話をしようと思えますんで、またそういう形でいいですね、それじゃ。

（「はい」の声あり）

○議長（時光） じゃあ、よろしくお願いします。

それでは、以上をもちまして全員協議会は終了といたします。

（閉会 10時31分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長